

てもらい行ったところ、成虫は数十個体みられ幼虫も若齢から終齢まで数多くの個体が見られた。そのため、今後もこのクロマダラソテツシジミとソテツを観察する必要がある。

先述の押川君が終齢幼虫を持ち帰ったところ、8日で蛹化、羽化し成虫となったらしい。やはり、南方系のチョウなので成長が早いのであろう。昨年飛来し数十個体に秋ごろまでに増える事は可能である。しかし、このクロマダラソテツシジミが冬を越せるかは分からない。今後も押川君と共に観察を続けていくつもりである。

末筆ながら、本報告を助めていただいた人と自然の博物館の八木剛氏、久保弘幸氏そして、情報を教えてもらい採集に連れて行ってくれた押川匠君に厚く御礼申し上げます。

○参考文献

- 法西浩, 2009. 兵庫県西宮市・宝塚市に侵入したクロマダラソテツシジミの野外観察と飼育記録. 人と自然, 20: 133-137.
- 平井規央・上羽賢憲・坂本佳子・矢後勝也・山本治・森地重博・近藤伸一・石井実, 2008. クロマダラソテツシジミの大阪府と兵庫県における発生と生活史等の知見. 日本応用動物昆虫学会大会講演要旨, 52: 153.

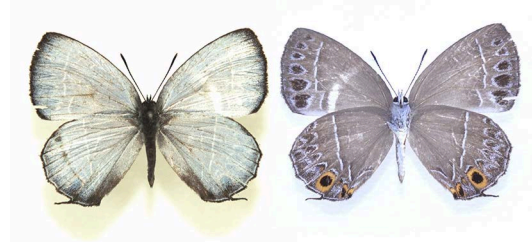
(Ryōtarō WAKIMURA 姫路市立広畑中学校2年)

兵庫県多可町中區にてウラクロシジミを採集

松尾 隆人

ウラクロシジミ *Iratsume orsedice* は、北海道、本州、四国、九州に分布し、東北・関東・中部・近畿の諸地方では山地帯に分布は広いが、産地は一般に局所的(白水, 2006)。県下においては、山陰地方より宍粟郡千種町・一宮町および朝来郡生野町を南限として標高400～900mの山地に広く分布する。しかし、山陰地方の美方郡浜坂町、城崎郡城崎町、豊岡市、出石郡出石町付近では食樹が平地でも稀ではなく、これらの地域では平地にも普通に産する(高田ほか, 1978)。また、近藤伸一氏によると県南部では宍粟市山崎町、神河町(旧大河内町)、篠山市でも記録されており、古い記録に1965年の三田市高次での1例があるという。

筆者は、本種を多可町中區の自宅において採集したので報告する。これは東播磨では初記録であり、三田市に次ぐ南限の記録に当たる。



1♂ (写真), 兵庫県多可郡多可町中區牧野, Alt.115m, 2.VI.2016, 筆者採集保管

チラチラと庭木にまわりついて飛翔していたところを偶然見つけたもので、採集時刻は午後2時頃であった。少しスレ等があるものの鮮度は比較的良好であることから数日前の5月末頃に羽化したものと考えられる。また、前日は北寄りの風が強かったこともあり遠方の生息地から飛ばされてきた可能性がある。しかしながら、その一方で出現期を5月末に想定した場合は既知の山地生息域のそれとは一致しない。はるばる豊岡市近郊の平地から飛来したとも考えにくい。今日まで確認されていなかっただけで自宅近郊の低地にも生息していたという可能性もなくはない。いずれにしても今後も継続的に調査していきたい。

末筆ながら県南部の記録等についてご教示いただき、本誌での発表を助めていただいた、兵庫昆虫同好会の近藤伸一氏、兵庫県立人と自然の博物館の八木剛氏に厚くお礼申し上げます。

○参考文献

- 白水 隆, 2006. 日本産蝶類標準図鑑. 106-107. 学習研究社
- 高田忠彦・井手敏晴(編), 1978. MDK NEWS 第28巻 通巻79号, 24-26. 虫同好会
- 鍋島五郎, 1998. 兵庫県篠山町でウラクロシジミを目撃, 北摂の昆虫(2) 能勢町深山とその周辺地域, 88. 大阪昆虫同好会
- 広畑政巳・近藤伸一, 2007. 兵庫県の蝶. 101-103. 岩峰社

(Takahito MATSUO 兵庫県多可郡多可町中區)